

「ふるさとに誇りと愛着をもつ光海っ子育成プラン」



学校名：佐世保市立光海中学校
所在地：佐世保市金比良町1-15
校長：池田 利夫
生徒数：54名
学級数：6



1 本校の特色ある学校づくりの目的

校区に米軍基地、キングスクールが隣接し、佐世保の国際色を感じる学校である。平成30年度には「話せる英語事業」の指定を受けて、英語教育を推進してきた。昨年度より、地域の中心にある学校としてCSを導入し、地域とともにある学校としての学校づくりを実践している。地域は、金刀比羅神社を中心に歴史が深く、伝統のある地域行事が盛んである。この地域の特長を生かし、地域そして佐世保の自然や文化に触れさせ、特色ある学校づくりに取り組んだ。

2 実践内容

(1) 学力向上プラン

①英語力向上（話せる英語事業の継続）

- ・1年生：イングリッシュキャンプの実施
- ・2年生：キングスクールとの交流
- ・3年生：英語力向上を図るためGTECを実施
- ・全学年：国際理解講演会（長崎県立大学との連携）



イングリッシュキャンプ



キングスクールとの交流

②主体的で対話的な深い学び（本物にふれる学習）

- ・ 1・2年生：活かせる仲間集団づくり（i-check 2回目の実施）
- ・ 3年生：社会科の市議会傍聴
- ・ 全学年：地域・保護者・子どもたち（小学6年生及び中学生）で語り合う「夢を語ろう」



市議会傍聴



夢を語ろう

(2) 光海中魂向上プラン

①6. 29平和集会

佐世保空襲を語り継ぐ会から講師を招聘し、佐世保空襲に関わる話をしていただき、被爆県に住む者としての意識高揚を図り、恒久平和を願う態度を育てた。

②「人権集会」SYD出前講座「貧困と共に生きる子どもたち」

人権週間期間中に、教育講演会を実施することを通して、子どもの心に、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培い、自他の生命を尊重する心を育成することを目的として実施した。

③職場体験学習

2年生が、地域（市消防署、美容室、保育園等10カ所）に出向き、仕事の厳しさや、楽しさを体験し、自分の将来の職業観を醸成した。

④薬物乱用防止教室、性教育講座の実施

心とからだの健康について自らのこととして認識し、自己を大切にし、責任ある行動を取ることができるような態度を養うことを目的としている。



職場体験学習



「人権集会」SYD出前講座

(3) 小中連携・地域連携向上プラン

①学校行事等の情報発信

次年度の学校カレンダーを地域学校協働本部において小中合同で作成し、全家庭と地域に配付し、情報発信に努めた。

②「学校だより」「CSだより」地域・保護者への配付

学校の情報発信と開かれた学校づくりを行うために、地域・保護者に配付した。

③開かれた学校としての環境づくり

「光海魂」の旗を校門に飾ることで、校訓が今も大切にされていることをアピールしている。

4 成果

(1) 生徒にかかわることについて

○話せる英語事業継続から、本年度も英語力向上のために取り組んだ。

1年生のイングリッシュキャンプ、2年生でキングスクールとの交流、3年生でGTEC実施、全学年で国際理解講演会（長崎県立大学）と系統立てることができた。

→英語でも日本語でも人と話そうとする力、異文化への興味・関心・意欲が向上した。

○本物にふれる学習として、地域の人材、教材、教育力を生かした学習をした。

社会科の市議会傍聴、話す力の育成、「夢を語ろう in kokai」、職場体験学習、小中連携縦割り活動 等

→本物を知ることで、今の自分を見つめ直し、夢・あこがれをもって、未来を見つめる子どもたちを育むことができた。

→ふるさとでのつながりにより、ふるさとを愛しく思う心を育むことができた。

(2) 学校運営にかかわることについて

○各教科や総合的な学習に時間において地域の方や講師を招いたことで、主体的で対話的な深い学びを確実にすることができた。

○小中一貫型学校として、小学校と中学校の学びをつなぐ授業実践や活動が展開できた。

合同研修会を3回実施し、小中の教職員の交流ができ、つながりが深まった。(中→小への乗り入れ授業280時間)

(3) 保護者や地域にかかわることについて

○小学校6年生から中学校3年生まで全児童生徒と地域・保護者が語り合う「夢を語ろう」を実施することで、本校が目指す話す力の育成及び人とつながりを育む取組が展開できた。

○地域や外部機関に人材を求め、生徒に多様な体験学習を行わせ、普段の学習をより一層深める取組ができた。(国際理解教育講演会、イングリッシュキャンプ、職場体験学習、佐世保市議会傍聴 等)

5 今後の課題

○今年度も、本校が取り組む小中一貫教育の推進及びコミュニティ・スクールとして、地域とともにある学校になるための特色ある取組に力を入れてきた。地域に人材・教材を求め、地域の方との距離を縮めた。さらに、小学校と中学校の距離感も縮めている。地域の方の温かい励ましの声が増え、地域の元気な声が聞こえてくる成果を感じた。

○学校評価の意見や感想欄に書かれた地域や保護者の声から、さらに特色ある学校づく

○コミュニティ・スクールとして、さらに地域とのつながりを深める学校経営が求められる。「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」に向けて、小中が連携・協働し、地域人材と教材を生かした取組になお一層、力を注ぎたい。